

## 歴史総合・日本史探究

問題1 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

「世界の一体化」は大航海時代におけるヨーロッパ諸国の非ヨーロッパ世界への進出に始まる。また、アメリカ独立革命・フランス革命に代表される市民革命とイギリスから始まった産業革命は、両者一体となって19世紀後半のヨーロッパに近代的な国民国家を生み出し、その結果、「世界の一体化」は東アジアでも著しく進んだ。

19世紀前半の東アジアに君臨した清に対して自由貿易を迫ったのはイギリスであり、それは二度の戦争を通しておこなわれた。一度目は1840年に生じたアヘン戦争である。産業革命期までに国民的飲料に成長していた茶の輸入のためにイギリスから中国に銀が流出し続けていたという問題を、インドから中国へのアヘン密輸によって解決をはかったことが戦争の原因となった。アヘン中毒が広がるなか、清が（あ）を廣州に派遣してアヘンを没収させると、イギリスは損害賠償と自由貿易を求めてアヘン戦争を起し、清を降伏させた。その結果、1842年に結ばれたのが南京条約であり、追加条項には不平等な事項が盛り込まれていた。二度目はさらなる貿易の進展を求めて、イギリスがフランスとともに1856年に起こしたアロー戦争（第二次アヘン戦争）で、再び清の降伏によって終わり、1860年に北京条約が結ばれた。この間、アヘン戦争後の社会不安や混乱を背景に、1851年、キリスト教の影響を受けた宗教結社が江西省で挙兵して太平天国を建て、南京を首都とした。この反乱がようやく鎮圧されたのは、アロー戦争の終結より後のことであるが、鎮圧に貢献したのは、清の正規軍よりも、（い）、曾國藩など、漢人官僚が組織した義勇軍や外国人の軍隊であり、こうして清の無力が明白となった。このような危機への打開策として、漢人官僚たちによって（う）運動とよばれる近代化がおこなわれたが、それは技術面に偏り、ヨーロッパの思想や制度にもとづく近代的な国民国家の建設にはつながらなかった。

日本の鎖国政策に大きな転換をもたらしたのは、太平洋沿岸までの領土拡大を果たし、南京条約と同様の条約を清と結んで中国市場への進出をめざしたアメリカ合衆国であった。1820年代頃から、アメリカの捕鯨船などが日本近海に出没するよ

うになる。幕府は1825年と1842年に対応の異なる二つの法令を出したが、その背景には、アヘン戦争の情報にもとづく幕府の政策転換があった。さらに、開国へ向けて事態を動かしたのは、1853年の、アメリカ艦隊を率いたペリーの来航であった。ペリーの要求を受け、幕府は翌1854年に日米和親条約を結び、さらなる自由貿易の要請を受け、1858年には日米修好通商条約を結んで開国を決断した。これらの条約は不平等条約であったが、後者の締結においてもアロー戦争の推移に関する情報が判断材料とされた。このような危機において、幕府、朝廷、諸藩の間では、さまざまな動きが見られたが、いずれにしても、幕府が対応を朝廷に報告したり諸藩の意見を求めたりしたこと、朝廷や諸藩の政治的発言権が高まる一方で幕府の威信は低下した。幕府は朝廷の権威を借りて威信を回復しようと（え）運動を展開するが、外国との交戦経験から列強を武力で打倒する難しさを認識した（X）藩や（Y）藩は武力による倒幕へと動いた。これに対し、1867年、徳川慶喜が（お）によって朝廷に政権を返上しつつも、その権威のもとでの権力維持をはかると、倒幕派は朝廷でクーデタを起こし天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した。これに対して、旧幕府勢力は戊辰戦争を起すも、新政府軍の前に敗北した。

戊辰戦争中の1868年3月、明治天皇は（か）によって新政府の方針を示すとともに、新政府は幕藩体制からの脱却をはかる一連の改革、学制の整備、徴兵令による軍隊の創設、義務教育の導入などを実行し、中央集権的な国民国家の確立に努めた。また、殖産興業政策によって産業革命を本格化させた。さらに政府は、1871年、不平等条約改正の予備交渉と欧米の技術や制度の導入を目的に、（き）を全権大使とする使節団を欧米に派遣した。その後、藩閥政府への批判や人々の政治参加を求める（く）運動が広まると、政府は天皇の名で1890年に国会を開設することを約束し、立憲制度導入のための伊藤博文によるヨーロッパ視察を経て、1889年に大日本帝国憲法が公布され、翌90年に帝国議会が開設された。こうして日本では明治維新により19世紀中にヨーロッパにならった近代的な国民国家の体裁が整えられた。

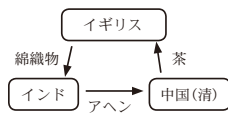
問1 下線部 a) について、イギリスに産業革命が生じた要因に関する事柄として誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 国際貿易をめぐる覇権争いに勝利した結果得られた植民地市場の存在。
- ② 鉄鉱石や石炭など、国内における豊富な資源の存在。
- ③ 農奴解放令によって国内に生じた豊富な労働力の存在。
- ④ 重商主義政策による国際的な商業の繁栄や、自由な経済活動による資本の蓄積。

問2 下線部 b) について。以下の問いに答えなさい。

- (1) 近代的な国民国家に関する文章として誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。
- ① 言語や文化を共有する一つの民族が一つの国家をつくるのが理想とされる。
  - ② 憲法や議会を備えた主権国家において、国民が主権を持つか、主権を持たない場合においても選挙制度を通じて政治参加への機会が与えられる。
  - ③ 生まれた地域や環境に関わらず国民としての意識を育むため、義務化や無償化などによって初等教育の整備が重視される。
  - ④ 人々の間の身分の違いやそれぞれの特権を認め、君主の権力によって国民が一つにまとめられる。
- (2) 1861年と1871年に成立した二つの統一国家について、これらの国名を統一年代順に記しなさい。

問3 下線 c) について、結果として下図のように示される形態の貿易が成立したが、それは何と呼ばれるか、記しなさい。



問9 下線部 h) について、朝廷の許可を得ないまま日米修好通商条約を結んだ井伊直弼を尊王攘夷派が暗殺した事件は何か、記しなさい。

問10 下線部 i) について、( X )、( Y ) の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① X—薩摩 Y—長州
- ② X—長州 Y—土佐
- ③ X—土佐 Y—会津
- ④ X—会津 Y—薩摩

問11 下線部 j) について、殖産興業に関する文章として誤っているものを、次の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 欧米各国から投資を受け入れて施設を建設する際に、外国人に所有権や経営権を与えないよう、政府の事業として政府が外国人を雇い入れた。
- ② 1870年、政府は工部省を設けて、鉄道の建設などお雇い外国人を中心におこなう事業を管理した。
- ③ 1872年には京都・大阪間に日本で初めての鉄道が開通した。
- ④ 輸出用の生糸の品質を維持するため、1872年に富岡製糸場が開設された。

問4 空欄 ( あ ) ～ ( く ) にあてはまる語句を、次のア)～ツ)のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア) 王政復古の大号令
- イ) 公武合体
- ウ) 五箇条の誓文
- エ) 五榜の揭示
- オ) 漸次立憲政体樹立の詔
- カ) 自由民権
- キ) 大政奉還
- ク) 文明開化
- ケ) 洋務
- コ) 板垣退助
- サ) 岩倉具視
- シ) 大久保利通
- ス) 洪秀全
- セ) 康有為
- ソ) 西郷隆盛
- タ) 福沢諭吉
- チ) 李鴻章
- ツ) 林則徐

問5 下線部 d) について、この条約によって、広州以外の地の開港の他、イギリスに対する領土の割譲も定められた。この割譲された場所はどこか、記しなさい。

問6 下線部 e) について、アメリカ合衆国の西部・太平洋地域への勢力拡大や国内市場の形成に関わる次の I ～ IV の出来事を、年代の古い順に並べ替えたものとして正しいものを、次の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- I アメリカ=メキシコ戦争での勝利によるカリフォルニアの獲得
  - II 南北戦争
  - III ミシシッピ以西のルイジアナのフランスからの購入
  - IV 大陸横断鉄道の開通
- ① III → I → II → IV
  - ② III → II → I → IV
  - ③ I → III → IV → II
  - ④ I → II → III → IV

問7 下線部 f) について、1842年に出された法令を記しなさい。

問8 下線部 g) について、この条約においてはじめて開港されたいくつかの場所のうちから一つを記しなさい。

問題2 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

(A)

9世紀初頭に嵯峨天皇のもとで藤原冬嗣が藏人頭になったのち、藤原氏のうちとくに ( あ ) が天皇家との結びつきによって勢力を伸ばしていった。藤原良房が摂政、藤原基経が関白となって ( あ ) の優位を確立し、菅原道真を重く用いた ( 1 ) 天皇の時期や天皇による親政を行なった醍醐天皇・村上天皇の時期を経て、基経の子孫である摂関家の人物が摂政・関白となることが慣例となった。藤原道長は天皇の外戚として30年にわたって朝廷で権勢をふるい、その子藤原頼通は50年にわたり摂政・関白をつとめた。摂関家を外戚としない ( 2 ) 天皇が親政をしたことで摂関家の権勢は衰えたが、摂政・関白はその後置かれた。

問1 空欄 ( あ ) にあてはまる語を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

【語群】

- ア) 北家
- イ) 南家
- ウ) 式家
- エ) 京家

問2 空欄 ( 1 ) ～ ( 2 ) にあてはまる語を記しなさい。

問3 下線部 a) について。藤原氏の初代で、中大兄皇子 (のちの天智天皇) とともに蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼし、内臣に任じられた人物は誰か、記しなさい。

問4 下線部 b) について。以下の問いに答えなさい。

- (1) 醍醐天皇の時期に編纂された、六国史の最後となる歴史書を何とよぶか、記しなさい。
- (2) 村上天皇の時期に発行された乾元大宝を最後とする、古代の朝廷が鑄造した一連の銭を何とよぶか、記しなさい。

問5 下線部 c) について。天皇の外戚とは何か、10字程度で記しなさい。

(B)

鎌倉幕府では、源頼家・実朝の時代になると有力な御家人のあいだで政治の主導権をめぐる争いが続くようになり、北条氏ももっとも勢力を持つようになった。北条義時は執権として(1)と侍所の別当を兼ねるようになり、その地位は北条氏一門のあいだで世襲されていった。1221年、後鳥羽上皇が北条義時追討のために兵をあげる(あ)が起きたが、幕府側が勝利し、幕府は京都に六波羅探題を設置した。3代目の執権である(2)は評定衆の設置や御成敗式目の制定などによって執権政治の隆盛をもたらした。北条時頼は御家人たちの訴訟を担当する(い)を設置した。やがて幕府では北条氏の宗家の家督を継ぐ得宗が権力を持つようになり、1285年には、得宗の家臣である御内人の平頼綱が有力御家人の安達泰盛を滅ぼす(う)も起きた。

問6 空欄(あ)～(う)にあてはまる語を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

[語群]

- ア) 承久の乱    イ) 問注所    ウ) 霜月騒動    エ) 宝治合戦  
オ) 正中の変    カ) 引付衆

問7 空欄(1)～(2)にあてはまる語を記しなさい。

問8 下線部a)について。御家人が幕府から任じられた、荘園や公領の現地支配者(荘官)の役職の名称を何とよいか、記しなさい。

問9 下線部b)について。六波羅探題の役割のうち誤っているものを、次の①～

④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 朝廷の監視            ② 大宰府の運営  
③ 西国の統轄            ④ 京都の内外の警備

(3) 48条では、先祖伝来の所領の売却と、将軍から新しく与えられた所領の売却の違いを記している。後者に関連して、将軍が御家人に新しく所領を与えることを何とよいか、記しなさい。

問10 下線部c)について。次の史料は、御成敗式目の一部の条文である。これについて、以下の問いに答えなさい。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

史料

〔3条〕 一、諸国守護人奉行の事

右、右大將家(注1)の御時定め置かる所は、大番催促・謀叛・殺害人(付けたり、夜討、強盗、山賊、海賊)等の事なり。

〔23条〕 一、女人養子の事

右、法意(注2)の如くんばこれを許さずと雖も、大將家の御時以来当世に至るまで、其の子無きの女人等所領を養子に譲り与ふる事、不易の法(注3)勝計べからず(注4)。

〔48条〕 一、売買所領の事

右、相伝の私領を以て、要用の時沽却(注5)せしむるは定法(注6)なり。而るに或は勲功に募り、或は勤勞に依りて、別の御恩に預かる輩、恣に売買せしむるの条、所行の旨其の科(注7)無きに非ず。

(『貞永式目』唯浄裏書本)

(注1) 右大將家：源頼朝    (注2) 法意：律令による見解

(注3) 不易の法：かわることのない法、前例

(注4) 勝計べからず：数え切れないほど多い

(注5) 沽却：売却    (注6) 定法：あたりまえのこと    (注7) 科：罪

(1) 3条に記された、治安の維持や警察権の行使などといった平時の守護の職務権限を何とよいか、記しなさい。

(2) 23条の内容を参照しながら、鎌倉時代の女性についての説明として適当なものを、次の①～③のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 子のいない女性は所領を養子に譲ることが多かった。  
② 女性を養子にすることは禁じられていた。  
③ 女性は所領を持つことができなかった。

問題3 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

(A)

江戸城の本丸は、「表向」と「奥向」の二つの部分から構成されていた。

このうち「表向」は、男性による政治・儀礼の空間であった。「表向」で最も大きな殿堂である大広間では、年中行事のほか、重要な儀礼が執り行なわれた。たとえば、将軍の任命儀礼では、朝廷の勅使が大広間で将軍に謁見した。1701年には、大広間に隣接する松の廊下で刃傷事件が発生した。この事件は朝廷の勅使を迎える日に、勅使接待役の(1)藩主浅野長矩が朝廷関係の儀礼を掌管する吉良義央を斬りつけるものだった。大広間では外国人の謁見儀礼も行なわれ、長崎で貿易を行なった(2)東インド会社の人びと、そして(3)通信使が登城した。大広間や松の廊下の障壁を彩ったのは、狩野派の絵師の作品であった。

江戸城の「奥向」は、将軍が日常の政務を行なったり、将軍の妻子や奥女中が生活する空間であった。このうち、後者の空間は(あ)と呼ばれた。(あ)を含む「奥向」は、幕府政治にも一定の影響を持っていた。たとえば、18世紀末に厳しい儉約令を行なった(い)は「奥向」から反発を買い、老中失脚の一因になったと考えられている。

「奥向」で働く奥女中には、武家出身の女性だけでなく、百姓や町人の女子たちが奉公することもあった。彼女たちは、武家出身者に比べると身分は低かったが、自立した生活を営んでいた。江戸城は、江戸時代の女性がキャリアを積み、出世の可能性を開く職場でもあった。

1868年1月、鳥羽伏見の戦いで、旧幕府軍が新政府軍に敗れた。こうしたなか、徳川家を守るために働いたのが、孝明天皇の妹であり、14代将軍徳川家茂の妻となった(う)であった。1868年4月11日、江戸城は新政府に引き渡されたが、(う)は直前まで江戸市中への町触の発令を命じるなど、江戸の統治にも関与した。

このように、江戸時代には「奥向」の女性が政治に関わることがあったが、明治維新後、政治空間から女性を排除する政策が確立していった。1889年に制定された(え)で女性天皇を否定し、男系による皇位継承が定められたことも、この

流れに位置づけられる。

問1 空欄（ 1 ）～（ 3 ）にあてはまる語を記しなさい。

問2 空欄（ あ ）～（ え ）にあてはまる語を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

【語群】

- ア) 和宮    イ) 春日局    ウ) 大奥    エ) 田沼意次  
オ) 華族令    カ) 皇室典範    キ) 西丸    ク) 松平定信

問3 下線部 a) について。江戸時代における朝廷と幕府との関係について述べた文として、誤っているものを、次の①～③のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 幕府は禁中並公家諸法度を制定し、朝廷運営の基準を示した。  
② 譜代大名から武家伝奏が選ばれ、朝廷と幕府との連絡を仲介した。  
③ 江戸時代後期には、将軍が天皇の委任によって政権を預かっているという考えが広まった。

問5 下線部 c) について。百姓や町人の女子に関して述べた文として、誤っているものを、次の①～③のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 有力な百姓・町人の家では、女性による家督相続も多くみられた。  
② 百姓や町人向けの教育機関である寺子屋には、女性の師匠も存在した。  
③ 明治維新後、百姓や町人の女子は華族や士族と自由に結婚できるようになった。

問6 下線部 d) について。明治時代における女性の活動に関して、以下の問いに答えなさい。

(1) 1870年代初頭、留学のためアメリカへ渡り、帰国後に女子英学塾を開設したのは誰か。以下の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 市川房枝    ② 伊藤野枝  
③ 津田梅子    ④ 平塚らいてう

(2) 1900年に公布された女性の政治運動参加を禁止した法は何か、記しなさい。

問4 下線部 b) について。狩野派の絵師の作品に関して、以下の問いに答えなさい。

(1) 狩野派の絵師の作品を、次の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

①



②



③



④



(2) 明治時代になると、狩野派を含む伝統的な美術は、政府により保護され、発展した。このことに関連する語として、適当ではないものを、以下の①～④のなかから一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 岡倉天心    ② 白樺派  
③ 東京美術学校    ④ 文部省美術展覧会（文展）

(B)

1929年10月、ニューヨーク証券取引所で起こった株価の大暴落をきっかけに恐慌が発生した。この恐慌はヨーロッパ諸国に広がり、植民地もまきこんでいく。そのため、この恐慌を（ あ ）という。その影響は日本にもおよび、アメリカへの輸出品である（ い ）などの価格が暴落した。農村は窮乏し、商工業も不振がひろがった。賃金の引き下げや失業の増加も起こり、社会不安がひろがった。この恐慌を（ う ）という。

ヨーロッパやアメリカなどの列強が<sup>a)</sup>恐慌対策に苦しむなか、満洲では中国によって南満洲鉄道に並行する鉄道が建設され、日本の権益がおびやかされるようになった。危機感をいだいた関東軍は、ひそかに満洲の武力占領を計画した。

1931年9月18日、関東軍は奉天郊外の（ え ）で南満洲鉄道の線路を爆破した。これを中国軍のしわざとして、<sup>b)</sup>軍事行動を開始した。第二次若槻礼次郎内閣は、不拡大方針を公表したが、関東軍はその後も戦線をひろげ、満洲の主要都市を占領した。これを満洲事変という。日本のマスコミは満洲事変を大々的に報じ、人々は熱狂的に戦争を支持した。

中国は国際連盟に訴えて、アメリカは日本の行動を否認した。しかし日本は1932年3月に清の最後の皇帝であった溥儀を執政として、現地の有力者たちに満洲国を建国させた。国際連盟は中国の訴えに対し、（ お ）を団長とする調査団を満洲と日本に派遣した。調査結果は、次のようなものだった。すなわち、日本の満洲における権益維持は認める、しかし満洲国は地域の住民が自主的につくった国家ではないため認められない、というものだった。報告書は国際連盟に提出され、それに基づく日本への勧告案は、1933年2月の総会ではほぼ全会一致で採択された。日本は翌月、国際連盟からの脱退を通告した。この脱退は国際協調の動きに水をさしたが、日本の世論の多くは脱退に賛成であった。

満洲事変の停戦協定は1933年8月に結ばれたが、日本の陸軍は軍需資源確保のために華北へ軍を進め、この地域を、（ か ）を中心とする国民政府から切り離そうと試みた。これを華北分離工作という。これに対し（ き ）が率いる中国共産党を中心に、中国国内の抗日の働きが強まった。抗日よりも共産党撲滅を優先していた（ か ）は、1936年、（ く ）で張学良に監禁されて説得され、共産党と

の妥協に方針変更した。これを（く）事件という。

こうしたなか、日中間の緊張は高まり、1937年2月に北京郊外の（け）で起きた衝突をきっかけに本格的な戦争が繰りひろげられるようになる。9月になると国民党と共産党の間で第二次国共合作が成立し、（か）主導のもと、ソビエト連邦の支援を得て、両党は日本軍と戦うことになる。

問7 空欄（あ）～（け）にあてはまる語を、下の語群から選び、記号で答えなさい。

〔語群〕

- ア) 毛沢東      イ) ヴィッテ      ウ) リットン      エ) 西安  
オ) 柳条湖      カ) 銀              キ) 生糸              ク) 昭和恐慌  
ケ) 世界恐慌      コ) 蒋介石      サ) 盧溝橋          シ) 南京

問8 下線部 a) について。以下の問いに答えなさい。

- (1) アメリカでは、1933年に大統領に就任したローズヴェルトが、国家による積極的な介入路線をとった。テネシー川流域開発公社による大規模公共事業がその一つである。この政策を何というか、記しなさい。
- (2) イギリスやフランスといった広大な海外植民地をもつ国々では、自国および植民地については関税を引き下げ、一方でそれ以外の地域に対しては関税を引き上げた。このような経済を何というか、記しなさい。

問11 下線部 d) について。張学良の父である張作霖は、1928年に暗殺された。これは当時の内閣の外交方針が軟弱であると判断した関東軍によるものだが、国際協調路線をとるこの内閣は、関係者の嚴重処分と真相公表を天皇に約束したが、果されなかった。天皇がこのことに強い不満を示し、この内閣は退陣した。この内閣の総理大臣は誰か、記しなさい。

問9 下線部 b) について。若槻礼次郎は、二度、総理大臣となっているが、それぞれ、前総理大臣が死去したのちのことである。その人物は加藤高明と浜口雄幸であるが、二人の人物についての次の問いに答えなさい。

(1) 加藤高明は、普通選挙法を制定した。この普通選挙法を説明した次の文の空欄 i・ii に適する語をいれなさい。

選挙人の資格は、（i）歳以上の、性別が（ii）子で、総選挙自体は1928年に行なわれた。

(2) 浜口雄幸内閣は金本位制への復帰を行なった。金本位制に復帰すると日本経済はどうなるのかについての説明として適当なものを、次の①～④のなかから二つ選び、記号で答えなさい。

- ① 円の価値が下がるため輸出品の価格が下がり、多くの輸出企業が不利になる。  
② 円の価値が上がるため輸出品の価格が上がり、多くの輸出企業が不利になる。  
③ 非効率的な企業が整理されることで政府の融資や補助金が減って増税が実現し、経済の活性化がはかれる。  
④ 非効率的な企業が整理されることで政府の融資や補助金が減って減税が実現し、経済の活性化がはかれる。

(3) 浜口雄幸内閣は、緊縮財政と協調外交の立場から、1930年4月にロンドン海軍軍備制限条約を締結した。補助艦保有トン数は、海軍が主張していた対イギリス・アメリカ比の7割よりも低い数値となった。これを受けて海軍内の一部勢力などが天皇大権が侵犯されたと批判した。大権のうち、ここで侵犯されたとされるものは何か、記しなさい。

問10 下線部 c) について。国際連盟脱退を宣言したのは、当時の日本の外務大臣であった。この人物は誰か、記しなさい。